

大学の危機をのりこえ、明日を拓くフォーラム

大学フォーラム
つうしん

号外 2019.3.31

大学フォーラム

第1回シンポジウム報告

本日、大学フォーラム第1回シンポジウムを開催いたしました。北は北海道から南は沖縄まで、全国各地から、189人の出席者がありました。ノーベル受賞者の白川英樹さんがご都合で欠席されましたが、皆様によるしくとの伝言がありました。

すでにお知らせいたしましたように、下記のような進行で順調に進みました。

多くの方から異口同音に「良かった」との声を頂きました。また、多くの質問や感想を頂き、どれもこれからの大学フォーラム運営の貴重な資料となりました。後ほど、詳細な報告をいたします。なお、広渡さんから次回、6月に第2回シンポジウム「高等教育の機会均等—権利としての教育無償化」開催の発表がありました。

各報告者のウィットに富んだ熱弁が出席者の共感呼びました。



シンポ次第

13:30-13:33 開会の辞 (司会 井原 聡)

13:33-13:48 呼びかけ人を代表し挨拶および趣旨説明 (広渡清吾)

講演

13:49-14:14 基礎科学の持続的発展に向けて (梶田隆章 東京大学宇宙線研究所長)

14:15-14:40 大学の特性・個性・自主性のゆくえ (井野瀬久美恵 甲南大学教授)

14:41-15:06 地方国立大学の現状と課題 (山本健慈 前和歌山大学学長)

15:07-15:32 大学は競争すればよくなるのか (山口裕之 徳島大学教授)

休憩 (10分) (講演者ひな壇へ) カンパの呼びかけ

討論

15:50-16:40 4人壇上へ (討論司会 小森田秋夫)

16:40-16:43 閉会の辞 (司会 井原 聡)

16:43-17:00 会場撤収作業

17:30~ 懇親会 (15人程度、会場近辺の「ナボリの下町」15人の関係者で懇親会開催)

